

事前の  
チェック

- ①既存壁紙に浮き、剥がれがある場合は、補強してください。
- ②表面の汚れ・油分等は、十分に除去してください。
- ③内装制限を受ける現場（防火壁装工事）では、壁紙の重ね貼りは避けてください。

## ■施工手順



## 1. 養生

- ①床、枠廻り、柱、巾木、見切り等にパテ、接着剤等が付着しないように養生する。



## 2. コアシート張り

- ①「Newコアシート」裏面に糊付機を使用し、専用接着剤「タフタ」原液を均一に塗布する。  
(塗布量の目安：135g/m<sup>2</sup>)  
※既存壁紙のエンボスが大きい場合は、塗布量を多めにしてください。(塗布量の目安：150～180g/m<sup>2</sup>)
- ②施工前に小面積で「タフタ」にて「Newコアシート」を試験張りし、密着が悪い場合は、事前にサンディング処理を行ってからコアシート張りしてください。
- ③養生袋「カンガルー」内で、5～10分間のオープンタイムを取り、突き付け施工にて下地に貼り付ける。
- ④完全に乾燥させる。  
(乾燥時間の目安：3時間 20℃の場合)  
※下地に欠損部、凹部がある場合は、「Newコアシート」を施工する前に「水性リフォームパテ W」でパテ処理をしておく。



## 3. 壁紙貼り

- ①壁紙施工用接着剤「ルーアマイルド」等を規定量の水で希釈し、糊付機にて壁紙裏面に均一に塗布する。  
(塗布量の目安：135g/m<sup>2</sup>)
- ②養生袋「カンガルー」内で、壁紙に適したオープンタイムを取った後、壁紙を下地に貼り合わせる。
- ③ジョイント部を重ね切りする際は、下地を切らないよう下敷きテープ(下敷テープ FUJKIO・MOMOKO等)を使用する。
- ④コーナー部分等の剥がれ防止に、「ジョイントコークA」を内コークにて注入し、壁紙を納める。

■使用商品 (施工m<sup>2</sup>数)

## ●Newコアシート

商品番号	荷姿
316-324	960mm×100m
316-325	960mm×50m



## ●タフタ

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
216-001	18kg	100m <sup>2</sup> /18kg

ホルムアルデヒド低放量等級  
★★★★★  
国土交通大臣認定

●水性  
リフォームパテ W

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
273-722	3.5g(X4)	—

ホルムアルデヒド低放量等級  
★★★★★



## ●ルーアマイルド

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
213-701	18kg	180m <sup>2</sup> /18kg

JIS-F★★★★★

## ■注意事項

- ①表面に汚れ、油分が付着している場合、中性洗剤等で除去し、固く絞った雑巾で拭き取り乾燥させた後施工してください。
- ②下地壁紙の種類、状態によっては重ね張りができない場合があります。
- ③下地壁紙が、フィルムコーティング壁紙（汚れ防止壁紙）の場合、事前にサンディング処理を行ってからコアシート張りしてください。
- ④「Newコアシート」を使用する際は、事前に「タフタ」にて試験張りを行い、「Newコアシート」の接着性を確認した後、施工してください。
- ⑤施工は5℃以上で行ってください。
- ⑥はみ出したパテ、接着剤等は直ちに清水にて拭き取ってください。
- ⑦壁紙の種類によっては接着しにくいものもありますので、試験施工した上で施工してください。
- ⑧極端に湿度が高くなる環境下、あるいは伸縮性の大きい壁紙を施工される場合などは、「ルーアマイルド」等の壁紙施工用接着剤に「プラゾールSS」または「プラゾール100S」を10～20%添加し、補強してください。
- ⑨通気性の少ない壁紙の場合、壁紙施工後に膨れが生じる事がありますので十分注意してください。
- ⑩壁紙施工後、1週間程度は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めてください。
- ⑪使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、十分ご理解いただいた上でご使用ください。